

みんなの本だな

～1, 2, 3年生へ～

野はらの音楽家マヌエロ

ドン・フリーマン / 作
あすなる書房〔Eフ〕

音楽が好きなカマキリのマヌエロは、コオロギやキリギリスみたいに自分で音を出せません。まわりの植物をとって楽器を作ってみるのですが、うまく音がでません。

あきらめかけた、そんなある日、マヌエロは音楽が好きなクモに出会います。



カッパのぬげがら

なかがわちひろ / 作 理論社〔913ナ〕

夏の川でおよいでいたゲンタは、カッパのしかけたあみにかかって、川の底へつれてゆかれました。



やがて、なかよしになったカッパから、つるんとしたみどりいろのゼリーのような「カッパのぬげがら」をもらったゲンタは・・・。



ハンダのびっくりプレゼント

アイリーン・ブラウン / 作 光村教育図書(Eフ)

ハンダはともだちのアケヨにあげようと、おいしそうなくだものを7つ、かごに入れました。そして、かごをあたまにのせて、アケヨの村へとあるきだしました。アケヨのいちばんすきなくだものは、なんでしょう？ なぜ、びっくりプレゼントになったのでしょうか。

ソラマメばあさんをおいかける

たかどのほうこ / 作 文化出版局(913タ)

タンタが、学校でもらったソラマメがなくなりました。なんとソラマメは、おばあさんに化けてデパートにいたのです。タンタと姉のカオルが、ソラマメばあさんを追いかけていくと、そこは、野菜人間の町。2人は、ジャガイモと赤カブに変装して、野菜町にふみだします。



のんびりオウムガイとせっかちアンモナイト

三輪一雄 / 作 偕成社〔Eミ、484ミ〕

オウムガイとアンモナイトは、イカやタコのなかまです。オウムガイはのんびりやで、いつも水深300から500メートルの深い海にいます。せっかちなアンモナイトは、むかしはたくさんいました。でも、今も生き残っているのは、のんびりオウムガイだけなのです。



みみずのたいそう
神沢利子 / ほか著 のら書店(911ミ)
「なのはなとちようちよう」
まど・みちお



* 46編の詩のひとつひとつに、詩にぴったりのかわいい絵がついています。